

=編集後記=

このたび、子どもの日本語教育の実践と研究の成果の発信と公開を目的とした本誌の第8号を刊行する運びとなりました。今号には、研究論文3本、実践報告3本、エッセイ1本の投稿をいただき、そのうち研究論文2本、実践報告2本、そして寄稿論文1本を加えた計5本を掲載しています。貴重な論考や実践報告をご投稿くださった皆様、また、厳正な査読を通じて本誌の質を高めてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

本ジャーナルは、多様な言語文化背景を持つ子どもたちを対象とする日本語教育・学校教育・地域支援の実践と研究の相互交流を図り、国内外の現場の成長と関連領域の研究の発展を促進することを目指しています。本号に掲載された5本の論考・報告には、多様な実践の場での課題が取り上げられ、リソース開発や日々の取り組みの成果、理論的な視点から課題を深く掘り下げた研究の成果がまとめられています。

ぜひ本号を取り、新たな教育実践や研究のヒントを見出していただけることを願っております。そして、それをきっかけとして、互いの知見を深め合うための対話がさらに活発に展開されることを期待しております。

2025/12/22 【I】

〈査読・閲読協力者〉

池上摩希子（早稲田大学）、和泉元千春（奈良教育大学）、内田千春（東洋大学）、大知春華（一般財団法人国際都市おおた協会）、唐木澤みどり（学習院大学）、川上さくら（大阪府立大阪わかば高等学校）、川田麻記（桜美林大学）、窪津宏美（釜山大学）、齋藤ひろみ（東京学芸大学）、齊藤美穂（神戸大学）、田中祐輔（筑波大学）、花島健司（港区麻布小学校）、原瑞穂（東京学芸大学）

〈編集委員会〉

編集委員長：和泉元千春（奈良教育大学）

副委員長：川田麻記（桜美林大学）

委員：池上摩希子（早稲田大学）、内田千春（東洋大学）、大知春華（一般財団法人国際都市おおた協会子ども学習支援教室コーディネーター）、唐木澤みどり（学習院大学）、川上さくら（大阪府立大阪わかば高等学校）、窪津宏美（釜山大学）、河野あかね（つくばインターナショナルスクール）、齋藤ひろみ（東京学芸大学）、齊藤美穂（神戸大学）、田中祐輔（筑波大学）

事務局：王夢薇（お茶の水女子大学大学院）

〈ページデザイン〉片岡好デザイン事務所